

NSG

GROUP

NSG グループ

2015年3月期第2四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)

吉川 恵治

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

マーク・ライオンズ

代表執行役副社長兼CFO

諸岡 賢一

執行役副社長

2015年3月期第2四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

要点：2014年4月-2014年9月



- 第2四半期の業績は前年より改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- 個別開示項目において、一過性の要因による収益を計上

2015年3月期第2四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

連結損益計算書



(億円)	15年3月期 4月-9月期	14年3月期 4月-9月期	前年比
売上高	3,095	3,022	2%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	103	92	
償却費*	(42)	(43)	
個別開示項目前営業利益	61	49	
個別開示項目	132	(60)	
営業利益(損失)	193	(11)	
金融費用(純額)	(94)	(94)	
持分法による投資利益	4	4	
税引前利益(損失)	103	(101)	
当期利益(損失)	79	(105)	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	75	(111)	
EBITDA	265	252	5%

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**為替変動を除くと0%

収益性がさらに改善

個別開示項目

(億円)

投資の分類変更による評価益
有形固定資産等の売却による利益
リストラクチャリング費用
その他

15年3月期
4月-9月期

133

45

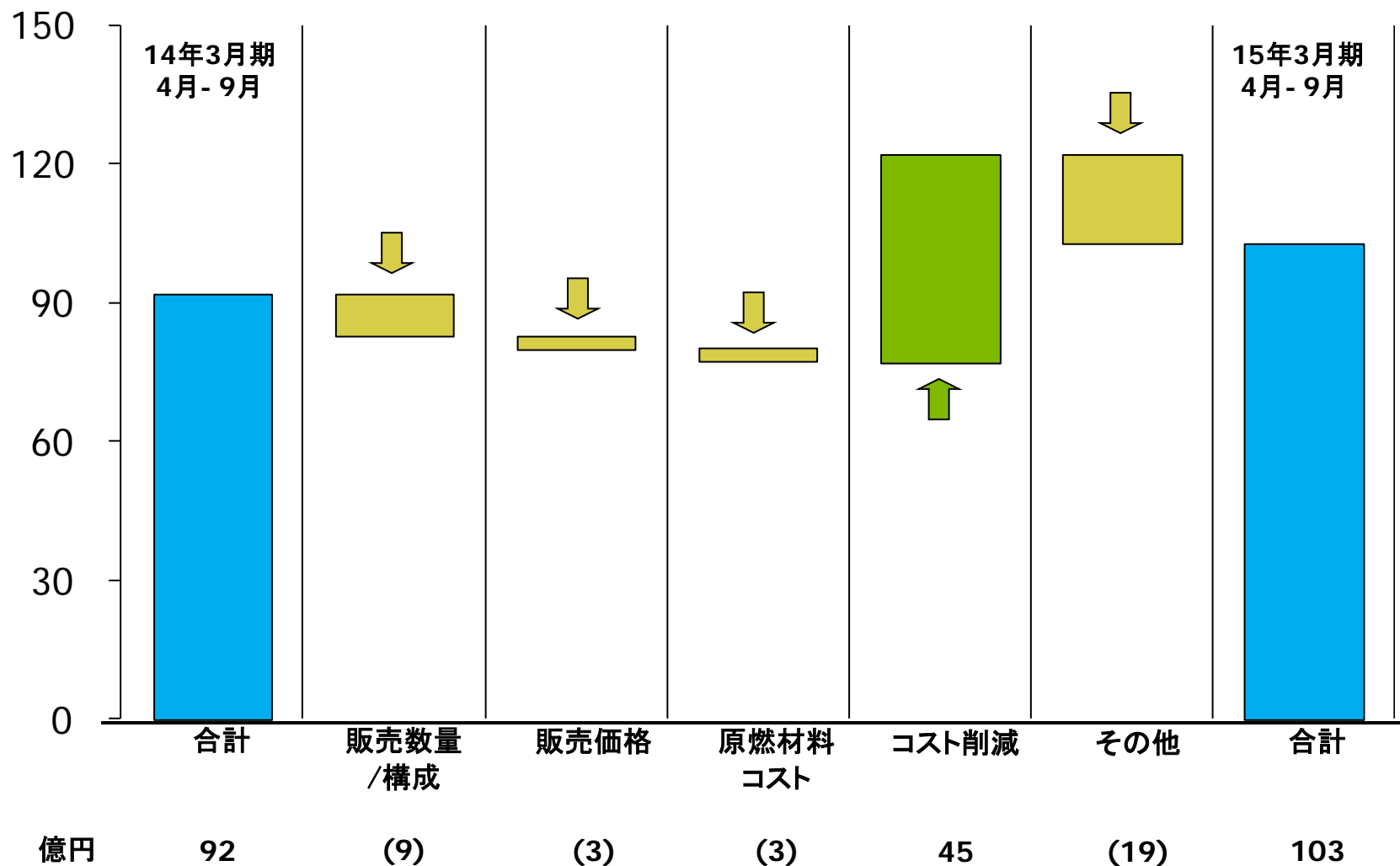
(42)

(4)

132

個別開示項目前営業利益差異分析

(無形資産償却前)



コスト削減による利益改善

連結キャッシュ・フロー



(億円)	<u>15年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>15年3月期</u> <u>7月-9月期</u>	<u>15年3月期</u> <u>4月-9月期</u>
当期利益(損失)	(47)	126	79
減価償却費	103	103	206
運転資本の増減	(73)	51	(22)
法人所得税支払額	(14)	(6)	(20)
有形固定資産除売却損益	-	(44)	(44)
投資の分類変更による評価益	-	(133)	(133)
その他	(36)	(39)	(75)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>(67)</u>	<u>58</u>	<u>(9)</u>
固定資産の取得	(76)	(80)	(156)
その他	3	43	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>(73)</u>	<u>(37)</u>	<u>(110)</u>
フリー・キャッシュ・フロー	<u>(140)</u>	<u>21</u>	<u>(119)</u>

主要財務指標 (KPI)



	<u>2014年9月末</u>	<u>2014年3月末</u>
ネット借入 (億円)	3,899	3,791
ネット借入/EBITDA	7.0x	7.0x
ネット借入/純資産比率	2.1	2.2
	<u>2015年3月期</u> <u>4月-9月期</u>	<u>2014年3月期</u> <u>4月-9月期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.4x	3.3x
営業利益率*	3.3%	3.0%

*無形資産償却と個別開示項目前営業利益

- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
 - 欧州では、本格的な市況の回復には至っていない。
 - 日本では、消費増税を受け、数量の減少が見られた。
 - 南米の市場は低調。
 - 東南アジアでは、建築用ガラスの数量とソーラー用ガラスの出荷が改善。
 - 北米の市場は力強さを見せた。
- 各事業の収益性は、下半期に改善する見通し

2015年3月期第2四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)



アジェンダ

要点

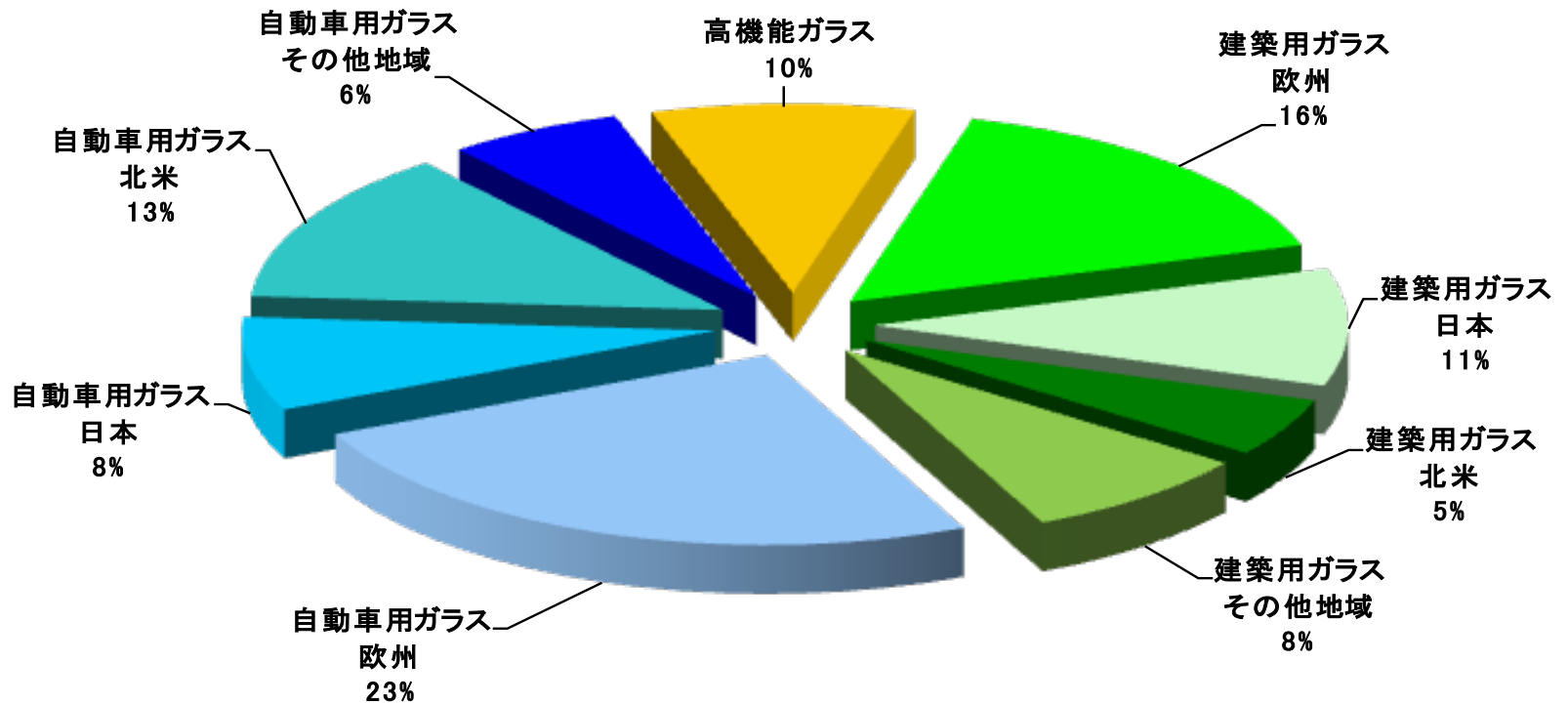
決算概要

事業状況

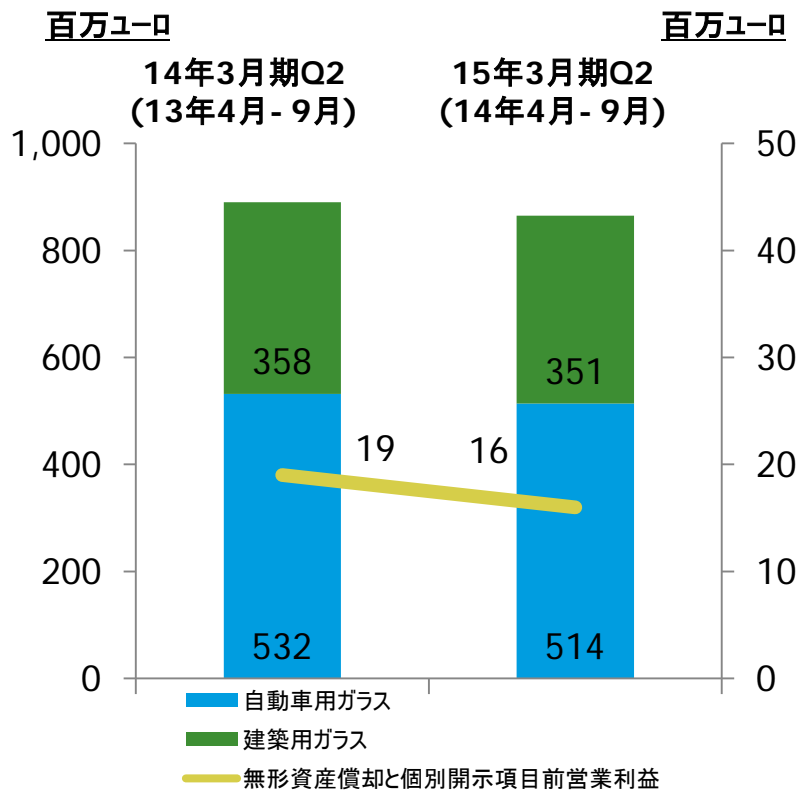
まとめ

事業別売上高

3,095億円



2015年3月期
(4月－9月)



建築用ガラス事業

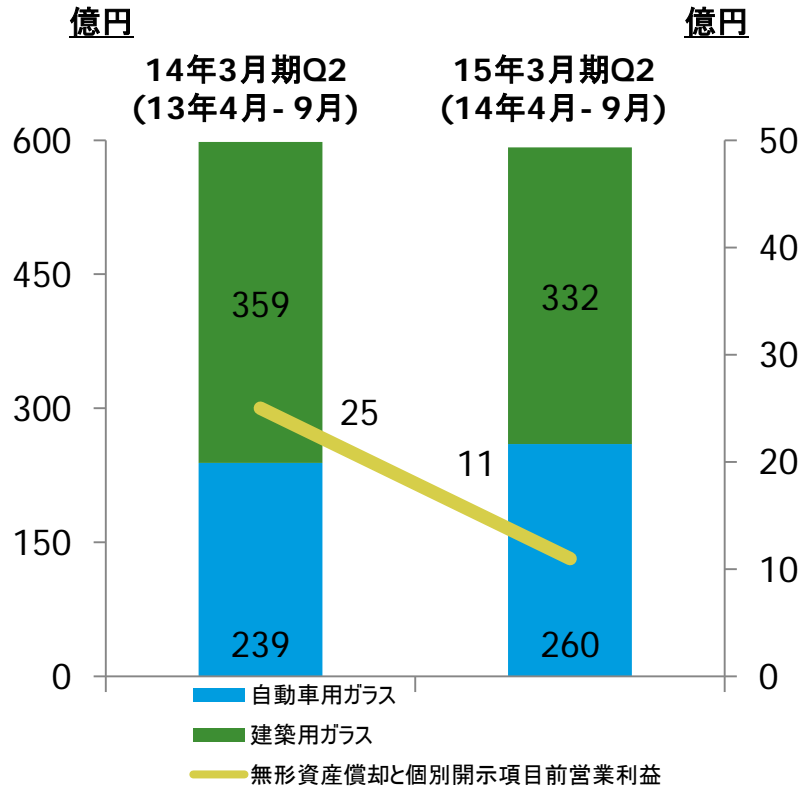
- 市場状況は安定
- 利益は前年並み

自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラス市場の回復がスローダウン
- 補修(AGR)用ガラスは暖冬の影響により数量減少

日本

2014年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

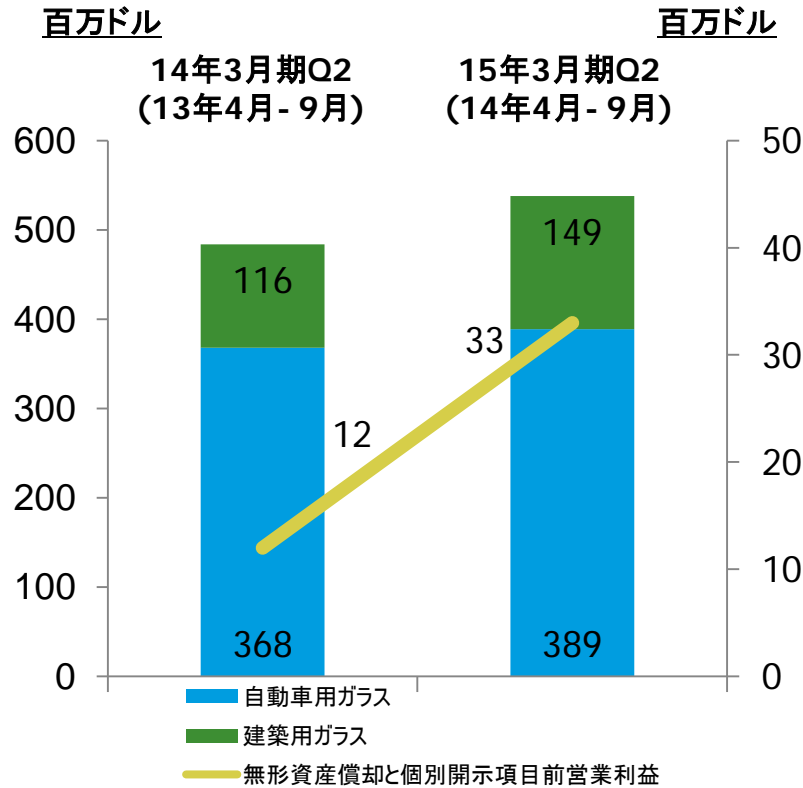
- 消費増税により数量減
- 投入コストの増加が利益に影響
- 長期的見通しは引き続きポジティブ

自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスの数量は、消費増税にかかわらず堅調
- 投入コスト(主にエネルギー関連)の増加が利益に影響

北米

2014年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

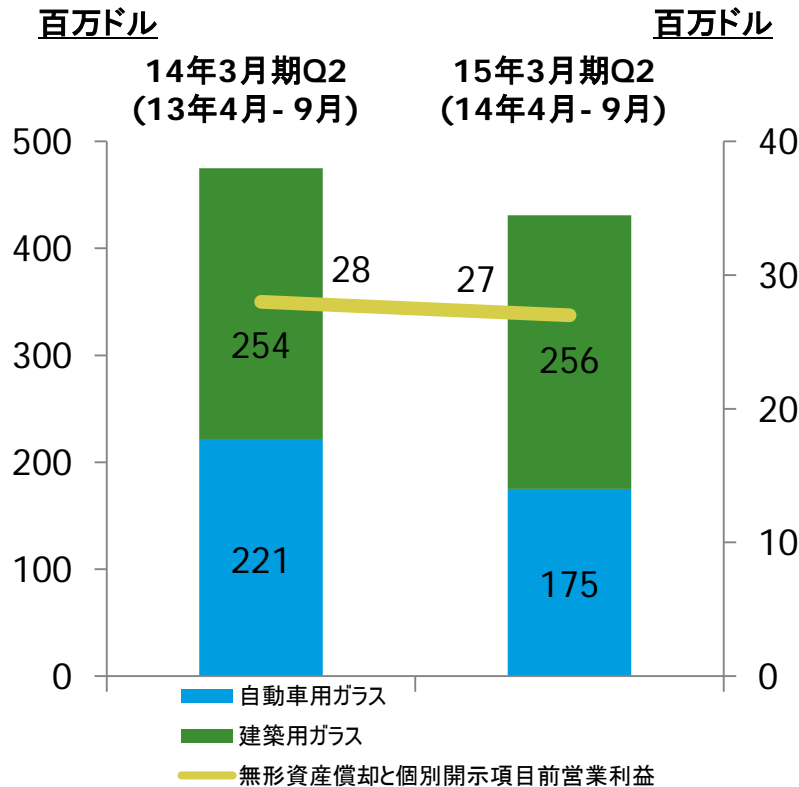
- 売上、利益ともに前年比改善
- 国内およびソーラー用ガラスの需要が改善し数量増加
- 国内価格水準は前年度を上回る

自動車用ガラス事業

- OE市場の数量は引き続き増加
- AGRは厳冬の影響を受け需要旺盛

その他地域

2014年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

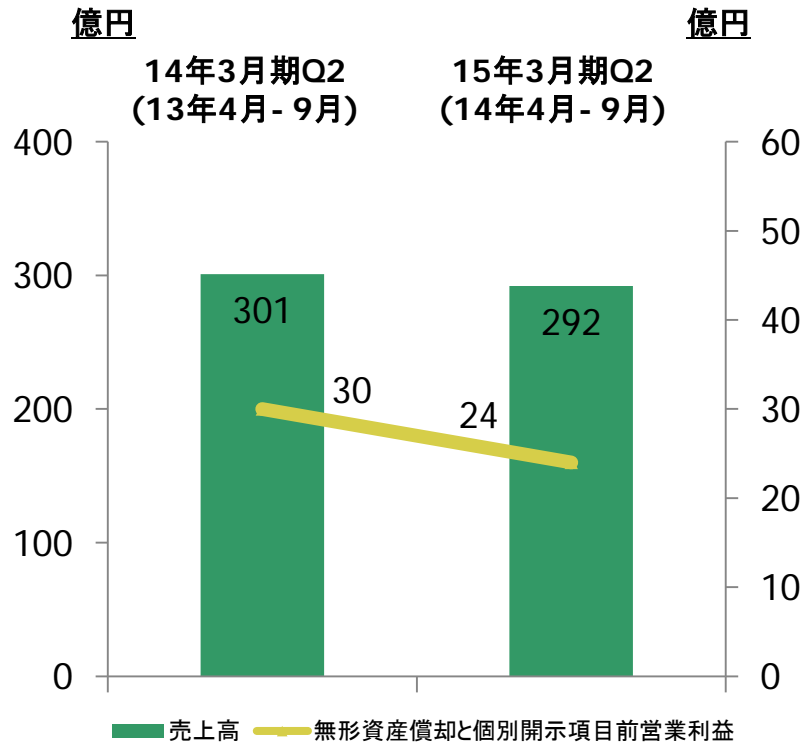
- 東南アジアは国内需要改善およびソーラー用ガラス増加により堅調な市場
- アルゼンチンは低調な市場状況

自動車用ガラス事業

- ブラジルの市場は引き続き低調に推移
- アルゼンチンは厳しい経済環境

高機能ガラス事業

2014年3月期第2四半期との比較



高機能ガラス事業

- オフィス向けプリンター用レンズの需要が改善
- グラスコードは前年並みの数量
- ディスプレイ用薄板ガラスは価格競争の影響を受けている

2015年3月期第2四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

- 第2四半期の業績は前年より改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- 個別開示項目において、一過性の要因による収益を計上
- 通期業績見通しは変更なし

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高

(2014年4月1日～2014年9月30日)



(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	332	490	153	264	1,239
自動車用ガラス	259	717	401	180	1,557
高機能ガラス	153	41	6	92	292
その他	6	1	0	0	7
合計	750	1,249	560	536	3,095

償却前営業利益*

(2014年4月1日～2014年9月30日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	57	39	24	(17)	103

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
営業利益*	15	26	31	31	103

*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

為替レート



	2014年3月期 4月-9月	2015年3月期 4月-9月
期中平均為替レート:		
円/英ポンド	153	173
円/ユーロ	131	140
円/米ドル	99	103
期末為替レート:		
円/英ポンド	158	178
円/ユーロ	132	139
円/米ドル	98	109

NSG

GROUP